

病気ではなく人を診る医師に

2月13日から4週間、佐渡総合病院で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。

内科新患・救急外来は、まず命に関わる疾患を見逃さないことが大切です。しかし、中には検査での異常所見がなく原因がはっきりしないことも多くあります。そういった場合に、困っている症状を詳細に聞き出し、症状に合った薬を処方することや、必要があれば専門の診療科やかかりつけ医につなぐことが大切だと感じました。また鑑別の挙げ方や、問診・身体診察の仕方、検査結果の見方を、指導医の先生方と実際に一緒に考え、手を動かすことで学ぶことができました。

巡回診療では、島内の病院に行く手段がない方のために、医師・看護師・事務の方数名が診療所や公民館を車で回って診察されていました。病気だけではなくその人の生活を診る、とおっしゃっていた言葉が印象に残っています。

産婦人科では、出産が思ったよりも多く、安心して出産できる環境を維持されていて、そういった地域を支える医師になりたいと強く思いました。

一生に残る実習となりました。ご指導いただいた先生方、コメディカルの方々、協力してくださった患者の皆様、本当にありがとうございました。